

令和6年(2024)応需率(救命救急センターを除く)

	収容可能回答数 (A)	収容不能回答数 (B)	収容依頼総数 (A)+(B)=(C)	応需率	収容不能理由		
					処置不能	ベット満床	その他
平成28年	4,021	1,780	5,801	69.3%	1,386	153	188
平成29年	3,624	1,828	5,452	66.5%	1,434	181	174
平成30年	3,257	1,375	4,632	70.3%	1,168	76	95
令和元年	4,014	1,217	5,231	76.7%	988	129	86
令和2年	3,721	1,647	5,368	69.3%	1,398	104	125
令和3年	3,577	2,070	5,647	63.3%	1,649	269	103
令和4年	3,824	5,003	8,827	43.3%	3,616	1160	120
令和5年	3,986	3,721	7,707	51.7%	3,075	518	128
令和6年(1月～9月)	2,919	2,262	5,181	56.3%	1,945	207	56

※収容可能、不能回答数は救命対応等による救命救急センターへの連絡を除いたものです。

※収容不能回答数と応需率からは、傷病者個別事情の数は除いています。

※収容不能の理由については、救急活動記録システムの理由に入力された場合のみのため、収容不能数と収容不能理由の数が一致するとは限りません。

令和6年(2024)救命救急センター応需率

	収容可能回答数 (A)	収容不能回答数 (B)	収容依頼総数 (A)+(B)=(C)	応需率	収容不能理由		
					処置不能	ベット満床	その他
平成28年	1,582	582	2,164	74.1%	262	240	80
平成29年	1,678	508	2,186	77.3%	325	111	72
平成30年	1,718	506	2,224	77.2%	442	11	53
令和元年	1,840	373	2,213	83.1%	162	98	113
令和2年	1,660	752	2,412	68.8%	506	53	194
令和3年	1,485	2,015	3,500	42.4%	1,778	148	89
令和4年	1,669	2,771	4,440	37.6%	1,571	534	666
令和5年	1,727	1,649	3,376	51.2%	1,313	140	196
令和6年	1,556	1,456	3,012	51.6%	1,088	157	211

※収容回答率は、警防本部が救命救急センターに連絡した回数(診療情報が×であっても連絡することがある。)に対しセンターが収容可能の回答をした比率である。